

三勲学区さわやかパトロール隊（岡山県）



みんなで守ろう！地域の子ども

地域住民・学校・保護者がガッチリ連携した防犯活動

1 三勲(さんくん)学区の概要

場 所～ J R岡山駅から東へ約 2 キロの岡山市のほぼ中心地域

構 成～ 33 町内会による連合町内会

人 口～ 約 5,000 世帯、約 1 万 6,000 人

学校等の数～ 12 校(保育園 1 園、幼稚園 2 園、小学校 2 校、中学校 3 校、高等学校 3 校、専門学校 1 校)

2 沿 革

昭和 47 年 「三勲学区交通安全対策協議会」、「三勲学区防犯協議会」が設立
当初は、交通安全に重点をおいた活動を推進

平成 16 年 「さわやかパトロール隊」発足(各町内会から 2 名参加)

現 在 隊員 62 名(ほか準隊員 42 名)、隊長以下 5 班編制(班長 5 名)
青色回転灯装備車 4 台

3 基本パトロール活動等

活 動 日：月～土曜日(春休み、夏休み、冬休みも活動)

活動時間：登校時間(7:15～9:00)、下校時間(14:00～16:00)

青色防犯パトロールは、上記の時間帯以外に 1 時間、学区全域で実施

活動方法：徒歩、自転車、青色回転灯装備車

定例会：毎月第2火曜日に開催

4 学校と連携したきめ細やかな子どもの安全確保

(1) 遠方の児童の引率

学童保育で遠方の児童、学区外から通学している児童については、児童の安全確保を図るため、隊員が引率して送っています。

(2) 早退する児童の引率

体調不良等で急遽帰宅する児童については、学校から隊長に連絡が入り、隊員が児童を引率して送っています。

(3) 不審者情報を受けた際の見守り強化

警察や学校から不審者情報を受けた際は、あらかじめ定められた配置箇所に隊員がつき、児童の見守り活動の強化を図っています。

5 小学校・幼稚園と連携した活動

(1) 幼稚園と連携した活動

隊員の士気高揚や園児と隊員との絆の構築、園児の社会性の醸成等を図るため、幼稚園と連携し、授業の一環として、園児とともにグランドゴルフや昔あそび(コマ、おてだま、竹馬、輪投げ、なわとび、メンコ、竹とんぼ)を行っています。

(2) 小学校と連携した活動

ア 「さわやかステーション」の設置

悪質商法被害の未然防止により、警察署長から感謝状を授与されたことを契機に小学校から「防犯服を着用して、学校に出入りしていただいてもよい。」との許可を受け、以来、校内の防犯パトロールを行っています。今では、学校内に隊員の集合場所やPTAとの打合せ場所として使用できる「さわやかステーション」が設置されています。

イ 不審者対応訓練、防犯教室の展開

学校、警察と連携し、不審者対応訓練等を行うほか、児童に自宅から学校まで「子ども110番の家」の目印であるセーフティーコーンがいくつあるかを数えさせ、楽しみながら「子ども110番の家」の場所を覚えさせる防犯教室等を行っています。

ウ 児童と連携した落書き消し活動等

落書き消し活動等は当初、隊員だけで行っていましたが、活動を見た児童から「自分たちも地域に恩返ししたい。まちをきれいにしたい。」との申し出を受け、小学校と協議し、授業の一環として、児童と共同で行うようになりました。

落書き消しを行う場所は、児童が探し、建物の所有者等との交渉は当隊で行っています。所有者からは「非常に助かる。」との反響があり、また、活動を通して、児童の規範意識の醸成や隊員の士気高揚が図られています。

(3) 活動の効果

幼稚園との連携が良好であるため、小学校に上がった子どもの保護者の団体の活動に対する認知度が高く、PTA役員が積極的に隊員となっており、若手隊員(小学生の

親世代)の確保と後継者の育成が円滑に行われています。

6 コンビニエンスストアとの連携

青色防犯パトロール時は、必ずコンビニエンスストアへの立ち寄り警戒を行っており、「子ども110番の家」のセーフティーコーンを置かせてもらっています。店とも良好な関係が構築されており、「万引きなどの防止に効果がある。」と感謝されています。

7 防犯環境の整備

(1) 防犯指導で死角となるブロック塀を撤去

周囲から死角となる塀に囲まれた医院の駐車場付近で痴漢事件が発生したことを受け、医院に防犯指導を行った結果、理解が得られ、見通しのよいフェンスに改善されました。

(2) 竹林、樹木の剪定

空き巣被害を防止するため、隊員で樹木の剪定方法を勉強し、民生委員の協力を得ながら、空き家等の樹木を剪定し、周囲からの見通しの確保を行っています。

三勲学区さわやかパトロール隊（岡山県）

みなさん、こんにちは。岡山県から参りました「三勲学区さわやかパトロール隊」でございます。私は隊長の吉田で、隣は総務担当の福田でございます。

三勲（さんくん）学区の概略

三勲学区は、JR岡山駅から東へ約2キロの岡山市の中心に位置し、三勲学区連合町内会33町内会、約5,000世帯、地域約住民1万6,000人が暮らしています。昔ながらの町と新興住宅が混在している地域であります。

特徴としましては、私たちの地域には、保育園1園、幼稚園2園、小学校2校、中学校3校、高等学校3校、専門学校1校の、合計12の学校園があります。



沿革

「三勲学区さわやかパトロール隊」の母体である「三勲学区防犯協議会」は、昭和47年に「三勲学区交通安全対策協議会」と同時に発足いたしました。当時は、学区内を走る国道2号線が重要な役割を果たしており、交通事故が多発していましたので、「三勲学区交通安全対策協議会」に重点をおいての活動でありました。

平成14年に岡山県の県北にあります津山市で発生した少女殺害事件、お隣の広島県で青年女子が殺害された事件を契機として、防犯の取り組みを防犯協議会として再立ち上げたのです。そのような中、奈良県で発生した幼児殺害事件など全国的にも子どもが被害者となる犯罪が相次ぎ、私たちの地域でも、平成15年から16年に三勲学区や近隣で「空き巣、ひったくり、万引き、恐喝、痴漢、変質者の出没」などが多く発生したのです。

当時は、先輩達5名で防犯活動をされていましたが、手薄であることから、地域の体育協会の役員に協力依頼をして、パトロール隊の組織づくりをしました。学区の安全を守るということで、連合町内会会長に相談して、各町内会から2名参加で、防犯隊員を募集しました。

そして、平成16年10月25日に66名の隊員で、「三勲学区さわやかパトロール隊」を発足させることができました。



現在では、隊長以下隊員62名を5班に編成して、青パト4台を使用し、活動しております。

隊員のほかに準隊員が 42 名おります。

基本活動

パトロールは月曜日から土曜日に行なっております。

徒歩、自転車、青パトで活動し、平日毎日、春休み、夏休み、冬休みも継続して行なっています。

隊員の休みは、日曜日と1月1日から1月6日までです。

パトロールの時間帯は、登校時午前7時15分から午前9時、下校時午後2時から午後4時で活動しています。また毎月第2火曜日に開いている理事会では、活動日誌を含めて反省材料の対応を協議しています。

小学校・幼稚園と連携した活動

5つの班編成を活かして次のような活動をしています。

まず遠方の児童の引率です。自宅が遠方である学童保育の児童や学区外から通学している児童などの情報は、学校から連絡をいただき、子ども達が長い間一人きりで行動することのないよう、受け持ち班の隊員が引率して自宅まで送り届けています。同じように子どもが体調不良などで急遽帰宅する場合も、隊員が自宅まで送り届けています。この場合、児童が早退する旨の連絡が、学校から隊長に入ります。隊長は班編成に従って、子どものエリアを受け持つ班長に連絡を入れ、班長が隊員に連絡を取って担当者を決めています。

このように学校との連携によって、「子どもを一人」で帰らせず、自宅と一緒に帰る活動を行っています。

さらに、不審者情報を受けたときは、「見守り」の強化をします。予め隊員の配置場所を決めておいて、学校や警察から不審者情報が入ったときなど対応が必要な事態と判断したときには、隊員が配置箇所につき、子どもの見守りを強化しています。



幼稚園と連携した活動

私たちは、幼稚園で授業をしています。いきさつをお話しますと、平成16年当時、「三軒学区さわやかパトロール隊」を立ち上げた当初は、学区内近隣で下半身露出の変質者が多く出没し、パトロール隊も対応に大変な時期でした。パトロールをした後、子ども達が被害を受けるなどパトロール時間を変質者に読まれているようで、なかなか未然に防ぐことができませんでした。そのような折り、幼稚園の園長先生から連絡があり、「園児の安全のため、園内に入っていただきたい。」との申し出を受けました。

幼稚園の立ち入り活動を始めたところ、隊員はいつも会えなかった孫と会えるので楽しみに幼稚園に行くようになりました。幼稚園の立ち入りを続けているうち、園長先生の理解と園児の希望から、「一緒に遊ぼう。」「どうせなら授業をしよう。」などという話になりました。

そうしたいいきさつで、幼稚園の授業として、園児とパトロール隊員でグランドゴルフや昔あそび（コマ、おてだま、竹馬、わなげ、なわとび、メンコ、竹とんぼ）をしています。また新入園児に「い・か・の・お・す・し」を見せたり、クリスマス時期には会員がサンタクロースになって、クリスマス会も行なっています。

こうした防犯活動をしなが、園児たちとの交流、地域の絆を築いています。

小学校との連携した活動

小学校と連携するようになったきっかけは、悪質商法を未然に防止したことで警察署長から感謝状をいただいたことでした。さきほど申し上げましたように、パトロール隊の発足当初は変質者対策が上手くいかなかったり、「防犯は何をしてるのか。」とお叱りを受けながら活動をしていました。

そのような中で、平成17年1月、パトロール中に、あるお宅で浄化槽の業者と施主が話しているのを見かけました。パトロールの帰り、そのお宅では1時間も経つというのにまだ業者と話をしており、不思議に思い、「学区の防犯ですが何か変わったことがあったのですか。」と聞きました。すると、いきなり業者に「関係ないから帰れ。」と怒鳴られました。その反応を不審に思い、さらに業者から話を聞いたところ、「浄化槽の点検で、2万～3万かかる。」と言うのです。「地域は水洗工事は済んでいます。」と話すと業者は、「車から確認書類を持ってきます。」と行って立ち去り、戻って来ませんでした。このことで警察署長から悪質商法を未然に防止し、地域の安全・安心まちづくりに貢献したとして感謝状をいただきました。その後、学区内の学校、PTA、町内会長、各団体の集まるお祝いの席があり、校長先生が「学校の安全・安心を考えて、連携しましょう。」と言われました。それまで防犯服を着用して学校内に入るには距離感がありましたが、学校に入る許可をいただき、これが小学校との連携の第一歩でした。今では小学校の体育館に隊員が集合したり、PTAと話し合いの場として「さわやかステーション」を置かせていただいております。隊員は子どもが下校する前「さわやかステーション」に集まり、おしゃべりをしたり、学校における隊員の居場所になっています。

「さわやかステーション」の看板は当時の校長先生の手作りです。学校内にパトロール隊のために、ステーションを置くということは前例がなく、決断をいただいた学校に大変感謝しております。

小学校との連携が深まり、学校の中に不審者が入った場合を想定して、学校、パトロール隊、警察、全校児童とともに訓練を行いました。児童の安全場所の確保、パトロール隊の対応の訓練を通じて、抑止の考えを実践して取り組んできました。

また、授業時間を1時間いただき、防犯教室として、児童に安全に関する話をしました。もし不審者に遭った場合は、どうすればいいか、自分の家から小学校までの間に「SOS子どもかけこみ110番」のシールがいくつあるか、「子ども110番の家」のセーフティーコーンがいくつあるかを児童に教えて、子ども達の安全の認識を向上させています。

最初は苦労の連続でしたが、今では先生が、子ども達に「あなたたちの宝物は何ですか？」とたずねると「さわやかパトロール隊」と答えてくれたそうです。先生が「どうして？」とたずねると、「安心して友達と学校に通えることがうれしい。」と言ったそうです。そのような話の中、児童が先生に、「お礼に地域に恩返しをしたい。」と言ったそうで、私たちのところに連絡が入りました。授業の一環として、5年生は落書き消しを、6年生全員で学区内の公園清掃をパトロール隊とともに行いました。落書きを消す場所は、子ども達が見つけてきました。隊員でその所有者に交渉して落書きを消したところ、所有者に大変感謝されました。地域住民の皆様にも、大変喜ばれました。

幼稚園・小学校の連携がうまくいったことで思わぬ効果がありました。

それは、若手隊員の確保です。幼稚園に常に顔を出しているので子どもが小学校に上がったときには、保護者のパトロール隊に対する認識度が高いため、「子どもを守っていただいたので、今度は自分たちの番です。」と言って若いPTAの役員の方々が隊の防犯活動に参加してくれています。

コンビニエンスストアとの連携

青色防犯パトロールの際、コンビニへの立ち寄りも行なっています。以前、店の方に「変わったことがあれば連絡してください。」と話したところ、「防犯カメラを設置していても万引きされたかどうかわかりにくい。」「自分たちの買った食べ物を店の前で食べ、ごみを片付けもせずに帰って行く。」と話されていました。

また、「学生達がたむろして煙草を吸うなどマナーが悪いので、立ち寄っていただいたら安心できる。」と相談されたことから、パトロールの際は立ち寄るようになりました。今では店の方から「立ち寄りのおかげで何事もなく安心して暮らせます。」と言ってくれています。



なお、すべてのコンビニには「子ども 110 番」のセーフティーコーンを置かせていただいています。

防犯環境整備

三勲学区は昔ながらの家も多く、空き巣が多発していました。各町内会の会長から、「防犯もしっかり地域のパトロールをしてほしい。」と連絡もあり、空き巣被害の家を見に行くと、木が生い茂っていました。「道路からの見通しを良くした方がいいですよ。」と防犯指導を行ないましたが、「防犯にそこまでお金を掛けられません。」と費用がかかることを理由に断られました。そこで自分たちで伐採すれば費用がかからないと思い、隊員が剪定の方法を学ぶことにし本屋さんで「庭師の知恵袋」という本を購入し勉強いたしました。また、造園の知り合いに指導を受けた結果、剪定の技術も向上し、伐採してあげると見通しが良くなり、空き巣被害が減り、感謝されたのです。これが口コミで広がり「私の家も不安なので助けていただきたい。」と連絡があり活動しています。また、思わぬことから防犯指導を実施し、その結果、見通しの悪い塀がフェンスに替わったこともあります。

ある日、公園で親子連れの娘さんが、足を痛めて倒れてうずくまっていたので、「救急車を呼びましょうか。」と声を掛けました。するとタクシーで行くので、連れて行ってくだされば助かるとのことでしたので、娘さんをおぶってタクシー乗り場に行き、病院に行きました。先生が、「防犯の人と会って良かったなあ。」と患者さんに話しながら治療している中で、「うちの看護師が『夜勤のとき駐車場で体を触られたので、夜勤したくない。』と言うので何かいい方法がないか教えてほしい。」と言われました。住所の場所に行くと北側が入口で、南、東、西側が9段のブロック塀でした。病院の先生に「これは被害に遭いやすい状況です。」と話をし、「塀を低いフェンスにしないと駄目ですよ。」と言うと、本当に塀が取り払われ、交通の見通しも良くなり、近隣の住民の皆さんにも感謝されました。

活動に必要なこと

このようにお話していると、私たちの活動が順風満帆のように聞こえるかもしれませんが、実際は目に見えない犯罪の多さに最初の2年間は苦労の連続で、上手く活動ができませんでした。どうしたら地域の守りができるか、みんなで考え、地域の協力がなければ難しいということが、はっきりわかりました。連合町内会会長に「町内の情報をもらえますか。」とお願いしたり、小学校の校長先生に一年間の下校時間及び行事日程を作成してもらいました。こうした活動をしてきて、パトロール隊の活動は、保護者や地域住民に広く知れわたりました。



小学校からは毎年12月、パトロール隊への「感謝の集い」を体育館でやっていただき、全校児童による色紙、寄書き、花束をいただいております。今では地域住民、学校、保護者とがっちり連携しています。

以上でさわやかパトロール隊の発表を終わります。ありがとうございました。

司会 学校や子ども達との結びつきの強さが、この団体の特徴だと思います。また、防犯環境の整備につきましては、安全と密接にかかわっております。是非今後とも続けて活動をお願いしたいと考えております。

何か質問はございますでしょうか？

質問 後継者の育成については、PTAの方が継続的に参加されていると考えてよろしいですか？

回答 地域を知ることも防犯の第一ですが、押し付けるよりも保護者の方から「お手伝いしましょうか。」と言われるような方法で参加を募っております。